

R07.3.25 3学期修了式

この景色を見るのも今日が最後だと思いと感慨深いものがあります。改めて皆さんおはようございます。今年度は、様々な学校行事を平常通りに無事実施できた1年でした。実行委員や生徒会の皆さんが中心となって主体的に行事を運営してくれたお蔭で、皆さんそれぞれ中身の濃い学校生活を送ったことと思います。中でも7年ぶりに実施した、母校応援は大変感激しました。1学期末にもお話ししましたが、この母校愛を育みながら、頑張っている人を応援するとともに、人から応援される学校を目指すことこそ雪谷高校が大切にしないといけないものだと改めて思います。

さて、皆さんは既に知っているかと思いますが、私は今年度を持ちまして校長職を退くこととなりました。4年前に雪谷高校に赴任して、その当時はコロナ渦の真ただ中で、何をやるにも感染対策を講じながら制限をかけて行う必要があったのですが、雪谷の生徒たちは、今やれることを一生懸命、明るく取り組んでくれ、その姿勢に大変救われました。昨年度から通常の時程に戻し、学校行事等も徐々にコロナ前の状態で実施できるようになるにつれ、校内に活気が出てきて、皆さんの笑顔が多くなってきたような気がします。

部活動も活発になり、結果にも表れてきたように思います。全国大会や関東大会に出場したり、コンクールで金賞を取ったり、都でベスト16に入ったり、リーグ戦で昇格したりなどなど、多くの部活が互いに切磋琢磨しながら頑張ってくれました。学業の方も朝学習からしっかり取り組み、放課後も自主的に残って計画的に勉強している生徒も増えました。毎朝交わした皆さんとの挨拶も大変気持ち良く楽しいものでした。

このように勉強も学校行事も部活動も一生懸命取り組む生徒たちが多くいる学校で終わりを迎えることができ本当に良かったです。皆さんの懸命に努力する姿を見ることができて本当に幸せでした。皆さんありがとう。

最後に、これまで校長として皆さんに考えてもらいたいこと

を話したり書いたりしてきましたが、最後の今日、何を伝えようか色々悩んだのですが、結局言いたいことはただ一つ「人生は面白いよ。大人って楽しいよ。」ってことです。それは計画通りに行くことが面白いわけではなく、自分が考えていたのと違う世界が広がったりすることが面白いのです。皆さんが今見えている世界はほんの一部で全てではありません。考え方や価値観も狭いように思います。もしかすると自分の特性や興味も十分わかってないのかもしれないですね。ですから、様々な人との出会いや出来事を大切にして、意図的に行動を起こし、幾つになっても学び続けることが大切なんです。そうすることによって、以前では気が付かなかったことや、失敗したと思っていたことが、実は今につながっていることがたくさんあります。

前向きに行動することで、自分の興味や適性に気づき、進むべき道を見つけることができます。大切なのはあなたが自分の人生において、どうすれば周りの人を幸せにすることができるのか、誰の役に立たいのかを考えることです。だって、人から感謝されたり、喜ばれたりしたら、モチベーションは上がり、心が満たされ、結果それが自分の幸せにつながってきますよね。私の場合はそれが教職の道だったということで、皆さんも皆さんなりの道が必ず見つかります。いつまでも、好奇心と冒険心を持って、困難なことがあっても仲間とともに喜怒哀楽を共にできる、そんな人生を楽しんでください。

取り敢えず近々の私の目標は、趣味の自転車で、去年は国道最高位地点（渋峠、標高 2172m）と車で上がれる最高位地点（乗鞍岳豊平、標高 2702m）でどちらも踏破したので、今年は東海道をどこまで下ろうか考えているところです。

それでは皆さん、私は第一線からは退きますが、今後とも皆さんのご活躍を陰ながら応援するとともに、またどこかでお会いできることを楽しみにして最後の挨拶といたします。
お元気で、さようなら。

東京都立雪谷高等学校長
豊岡 耕一郎